

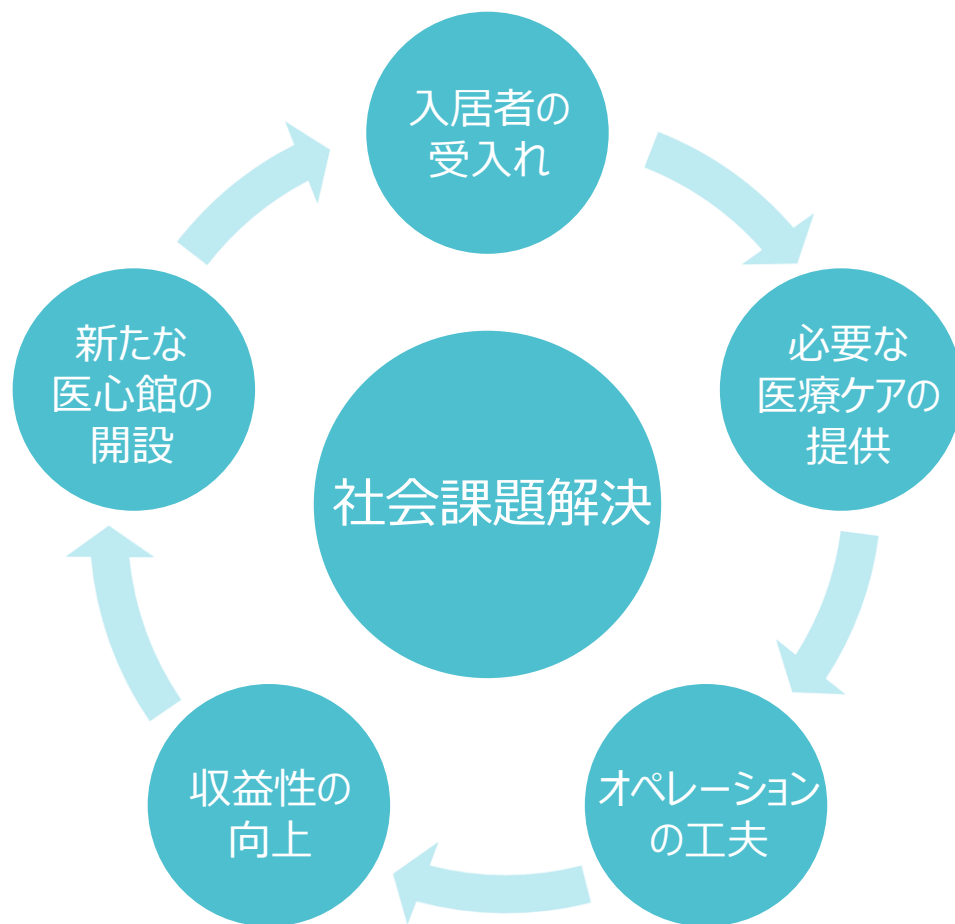


2023年9月期第3四半期
決算ハイライト

株式会社アンビスホールディングス

2023年8月9日

社会課題解決型事業



国により入院日数の短縮と在宅への復帰が推し進められているなか、退院後の行き先にお困りのことが多い、がん末期の方、人工呼吸器の装着や気管切開で呼吸管理が必要な方、そして神経変性疾患を患う方などを、医心館は積極的に受け入れてきました。そして、これまで担当されてきた主治医やケアマネジャーの継続を原則とするなど、地域医療がよりうまく機能するためのサポーターであることを意識してきました。

私たちは、地域医療の一翼となるべく、医心館事業の更なる拡大を目指すとともに、医心館事業で得たノウハウや人財を活かし、疲弊した医療機関や介護事業者を様々な形でサポートすることにより、地域医療の強化・再生へ一層貢献していきたいと考えています。

私たちの事業が、地域医療の活性化、医療従事者の疲弊軽減、医療の地域間格差の緩和の医療課題解決の一助になり、国の目指す医療介護制度の充実に寄与することを目指します。

23年9月期第3四半期累計業績

(第3四半期累計実績) 売上高

229.9億円

(通期予想) 売上高

306.8億円

(通期予想対比進捗率 : 75.0%)

(第3四半期累計実績) 営業利益

61.7億円

(営業利益率 : 26.9%)

(通期予想) 営業利益

78.7億円

(通期予想対比進捗率 : 78.5%)

- 既存施設の稼働率は安定稼働の目安である82~85%を上回る水準（86.6%）で推移し、新規施設の立ち上がりも順調であることを踏まえ、通期予想対比進捗率は順調に推移
 - ✓ 売上高：229.9億円（通期予想対比進捗率：75.0%）
 - ✓ 営業利益：61.7億円（通期予想対比進捗率：78.5%）
 - ✓ 当期純利益：46.1億円（通期予想対比進捗率：85.4%）
- 第3四半期に5施設を開設し、23年6月末時点において、70施設（定員3,446名）を運営。第4四半期は、例年新規開設が少ないが、今期は8月に2施設、9月に4施設の計6施設の開設及び1施設の増床を予定
- Amvis 2025の目標である127施設（25年9月末）に向け、24年9月期は既に25施設の開設及び1施設の増床（1,308名）を公表し、3ヶ年計画で掲げている開設目安の23施設（1,161名）を上回る進捗状況
 - ✓ 23年9月期及び24年9月期に、東京都で計10施設を新規開設することが既に決定
 - ✓ 24年9月期は、西日本で2施設（大阪府に1施設、岡山県に1施設）の開設を決定するなど、西日本での拡大も着実に進展
- 木材、エネルギー資源、施設で使用する物品等のインフレの影響を踏まえ、23年9月期の～7千円の1人当たり入居費の値上げに続き、23年10月に～4千円/月の追加値上げを実施予定

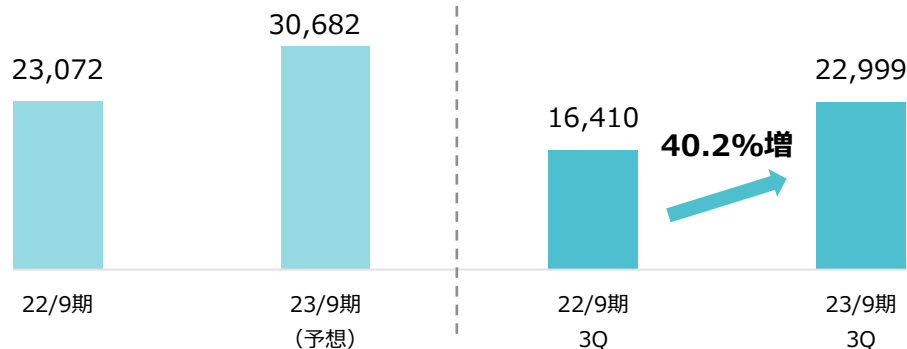
施設数・定員数の増加に伴い、売上・利益も着実に増加

- 前年同期末対比、定員数は約27%増加し、売上高・営業利益も比例して増加
- 通期予想対比進捗率は売上高（75.0%）、営業利益（78.5%）と、順調に推移。当期純利益は、特別利益の影響により、高い進捗率で推移（85.4%）

第3四半期累計実績及び通期予想に対する進捗

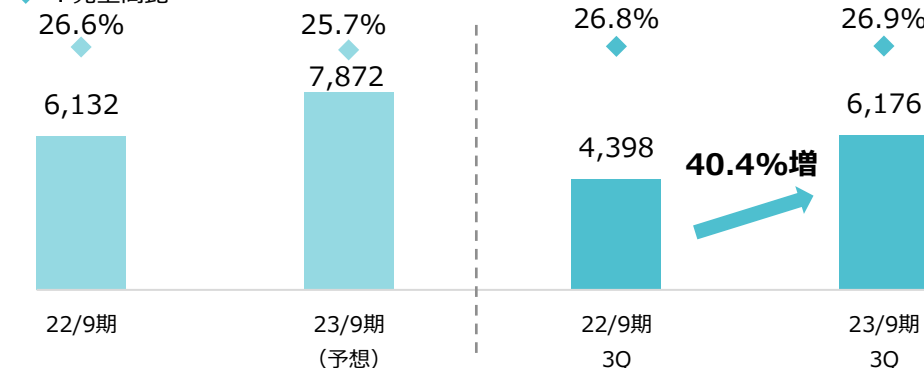
売上高

(百万円 / %)

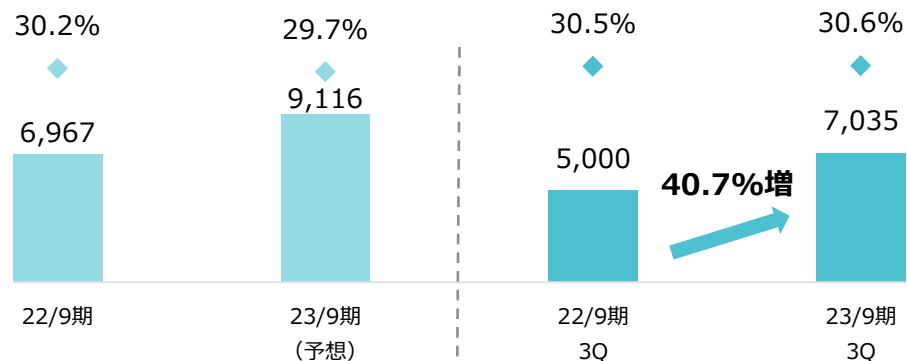


営業利益

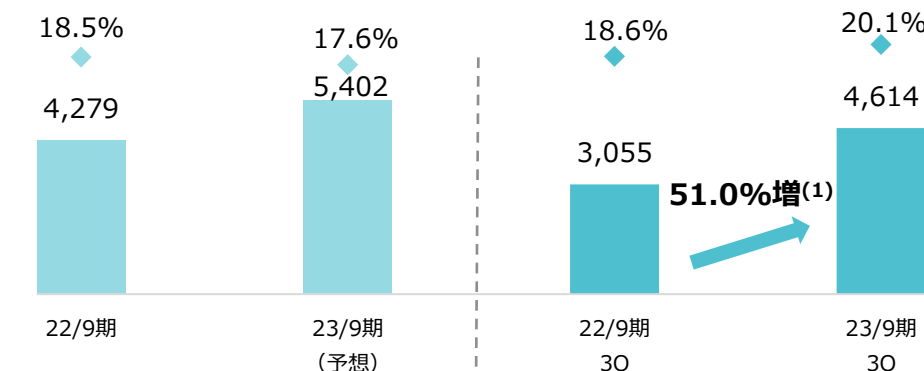
◆ : 売上高比



EBITDA



親会社株主に帰属する当期純利益



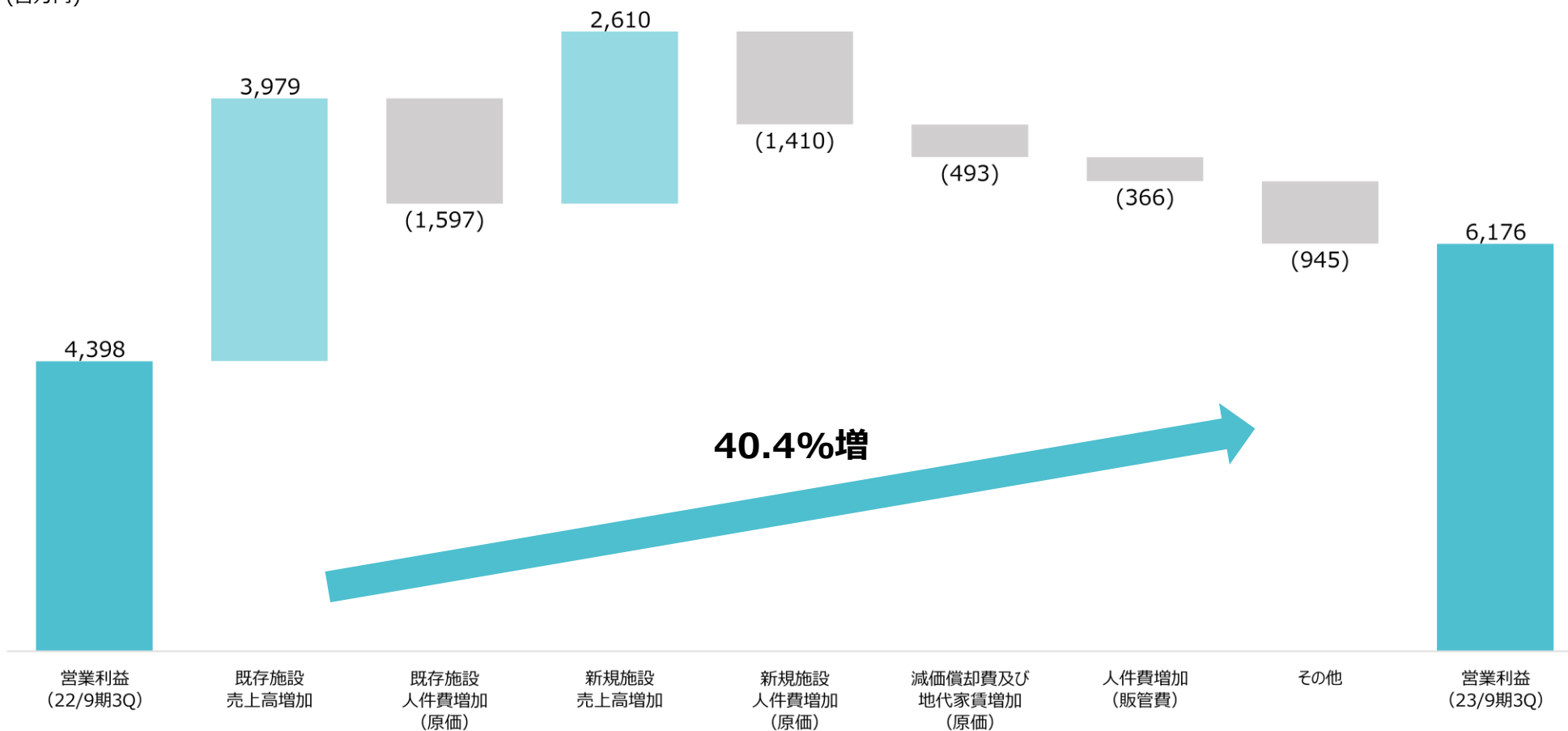
注：
1. 特別損益を除く増益率は、41.8%

既存施設・新規施設共に稼働率は安定して推移

- 既存施設の稼働率（86.6%）、新規施設の稼働率（50~55%）⁽¹⁾ともに順調に推移

営業利益推移（22年9月期第3四半期 – 23年9月期第3四半期）

(百万円)



注：

1. 新規施設：22/9期第3四半期末にて未開設の施設（後頁同様） / 稼働率：中央値

- 23年9月期は、19施設の新規開設及び1施設の増床（計1,021名）を予定
- 24年9月期は、25施設の新規開設及び1施設の増床（計1,308名）を公表済

23年4月以降の開設計画（～24年9月期）

開設時期	開設場所	総定員数 (名)
23年4月	藤沢、八事南山、つくばⅡ	154
23年6月	久喜、相模原	99
23年8月	大森、西船橋、八戸（増床）	147
23年9月	静岡Ⅱ、仙台八乙女、八王子、安城	202
23年10月	大井町	59
23年11月	大曽根、金沢、豊田	143
23年12月	琴似、多治見、水戸（増床）	131
24年2月	西永福、西荻窪、南越谷	158
24年3月	佐倉、目白	93
24年4月	熊谷、小手指、藤枝	152
24年5月	大垣、両国	101
24年6月	一宮、市原、岡山	141
24年7月	海老名、豊中	123
24年8月	祖師谷、千種、日吉	150
24年9月	亀戸	57

注：

1. 総定員数は、複数施設の定員数を合計したもの
2. 豊中の定員数は、23年5月15日公表時の75名から71名へ変更
3. 水戸の増床月は、23年4月17日公表時の23年11月から23年12月へ変更

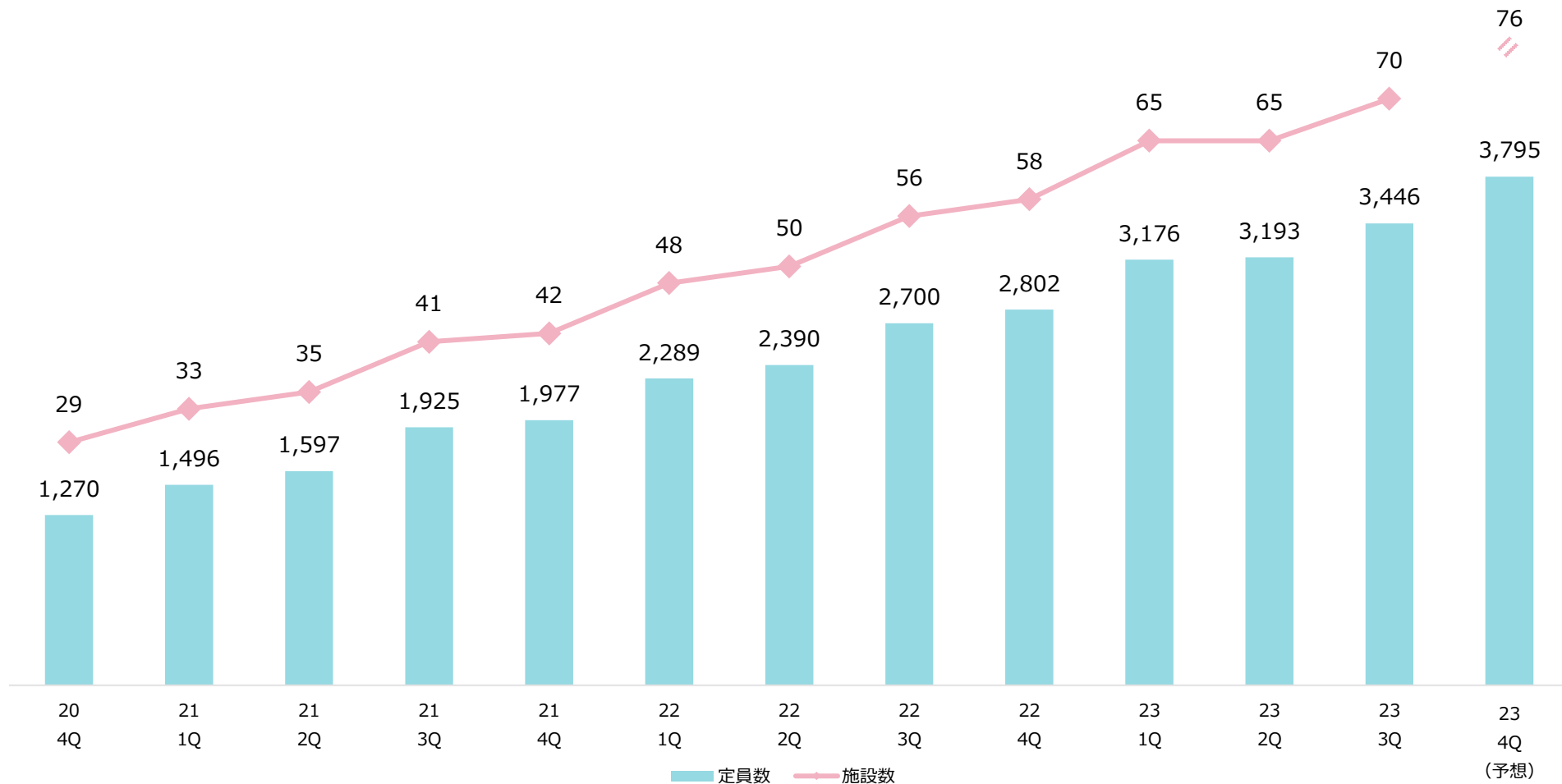
全国の医心館



四半期業績推移 - 施設数 / 定員数

施設数 / 定員数の推移(1)

(施設 / 名)



注：

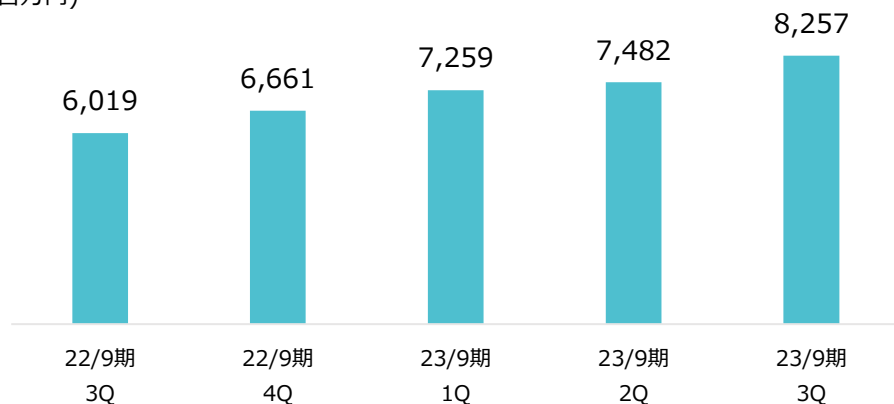
1. 23年9月期の施設数 / 定員数について、詳細は7頁参照

四半期業績推移 – 主要財務指標

直近1年間四半期業績推移

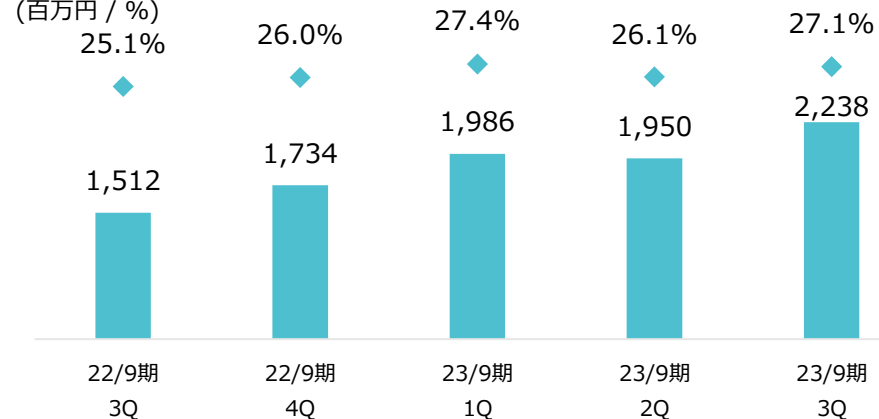
売上高

(百万円)

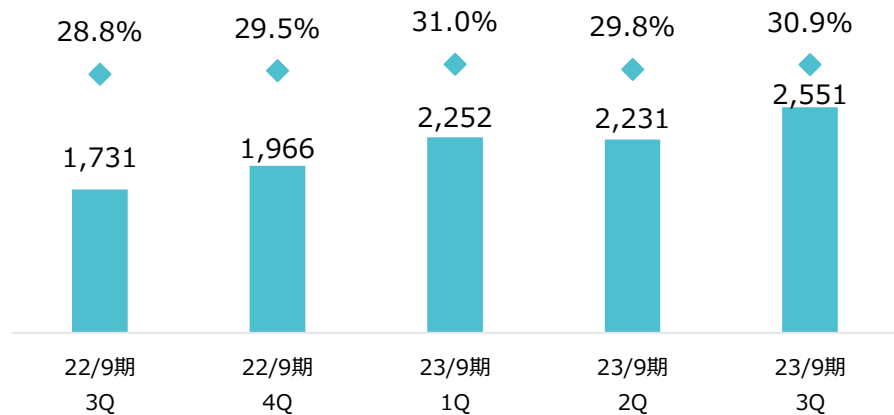


営業利益

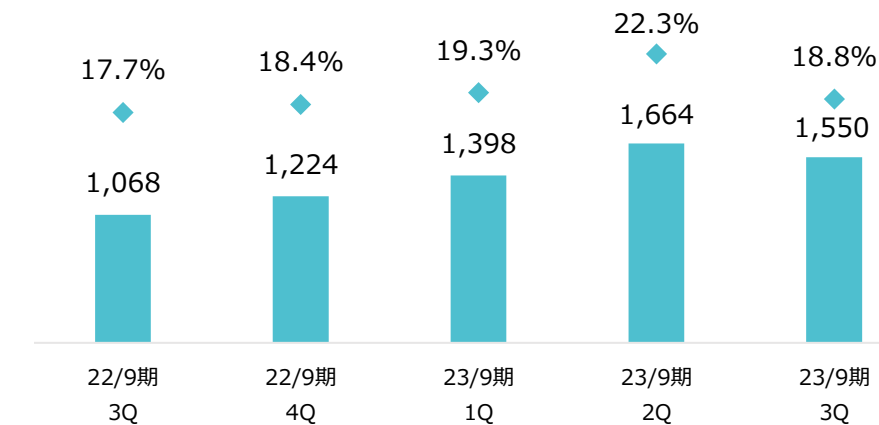
(百万円 / %)



EBITDA



親会社株主に帰属する当期純利益

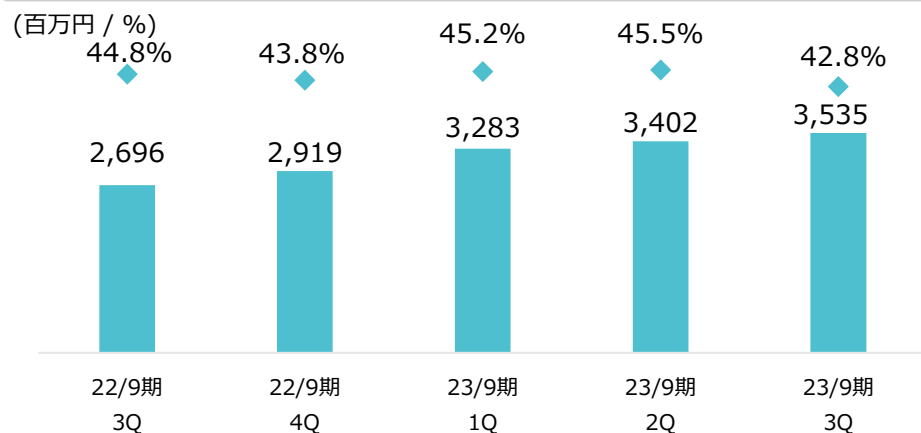


◆ : 売上高比

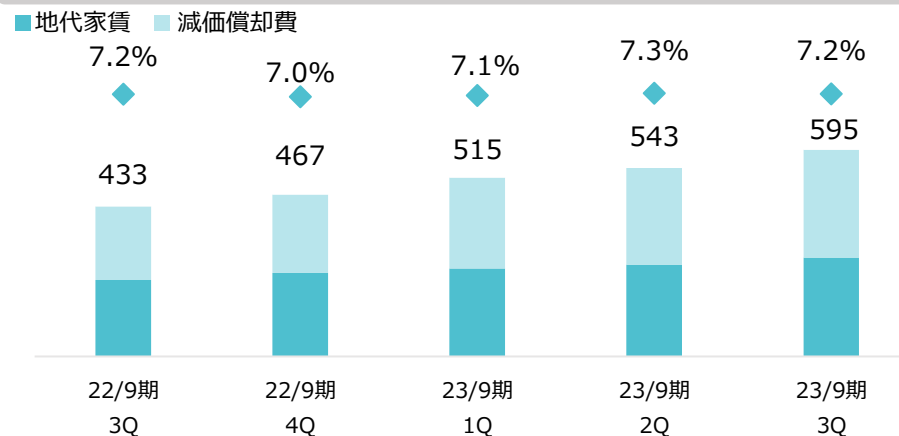
四半期業績推移 – 主要売上原価 / 販管費

直近1年間四半期業績推移

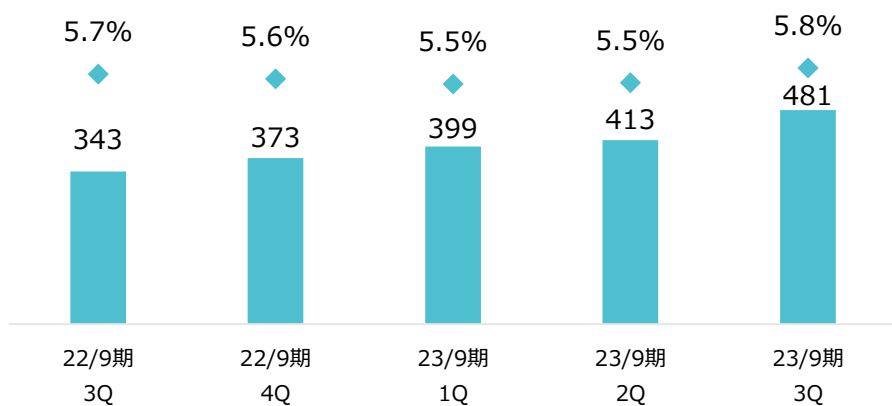
人件費（売上原価）



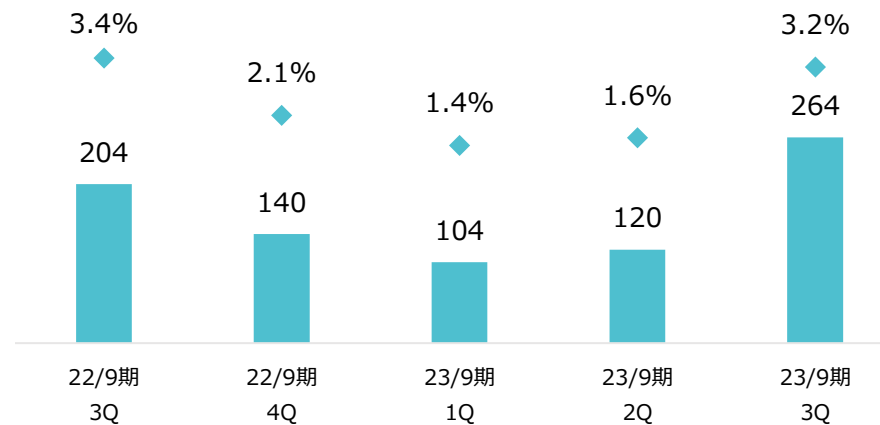
地代家賃及び減価償却費（売上原価）



人件費（販管費）



採用費（販管費）



◆ : 売上高比

財政状態概要

(百万円 / %)	21/9末	22/9末	23/6末	対22/9末 増減
資産	31,922	41,767	50,866	+21.8%
現金及び預金	11,192	11,342	11,515	+1.5%
建物及び構築物（純額）	8,963	14,322	18,695	+30.5%
負債	15,580	21,308	26,045	+22.2%
借入金	8,967	12,711	16,697	+31.4%
純資産	16,341	20,458	24,820	+21.3%
自己資本比率	51.2%	49.0%	48.8%	(0.2pt)

- MSCI ESGレーティングにて、22年10月のBB評価から2段階格上げされ、A評価を獲得
- 今後もマテリアリティに沿ったESGの取組み及び開示を強化することで、高い外部評価の維持・改善を企図

マテリアリティ



医療の地域間格差のない社会の実現



自然と調和したオペレーションの実現



ひとりひとりが生き生きと働ける職場の実現



社会・地域からのさらなる信頼獲得の実現

外部機関からのESG評価

- MSCI ESGレーティングは、企業のESGリスクとリスク管理能力を総合的に評価するESG投資の世界的指標
- 労働管理、プライバシー及びデータセキュリティ、企業倫理など、ESGに関連する施策や各種データの開示を拡充したことにより、ほぼ全ての項目でスコアが改善

MSCI
ESG RATINGS



CCC	B	BB	BBB	A	AA	AAA
-----	---	----	-----	----------	----	-----

注：

1. 株式会社アンビスホールディングスによる、MSCI ESG リサーチ LLCまたはその関連会社（以下「MSCI」）のデータの使用、およびMSCIのロゴ、商標、サービスマークまたはインデックス名の使用は、MSCIによる株式会社アンビスホールディングスの後援、承認、推薦、または宣伝を意味するものではありません。MSCIのサービスおよびデータは、MSCIまたはその情報提供者の所有物であり、「現状のまま」提供され、保証はありません。MSCIの名称およびロゴは、MSCIの商標またはサービスマークです。



参考資料

Amvis 2025目標

(25年9月末) 施設数 / 定員数

127施設 / 6,328名

23年9月末 (予想) : 76施設 / 3,795名
22年9月末 (実績) : 58施設 / 2,802名

(25年9月期) 売上高

523億円

23年9月期 (予想) : 306億円
22年9月期 (実績) : 230億円

(25年9月期) 営業利益

122億円

23年9月期 (予想) : 78億円
22年9月期 (実績) : 61億円

(22-25年) 当期純利益 年平均成長率

25%以上

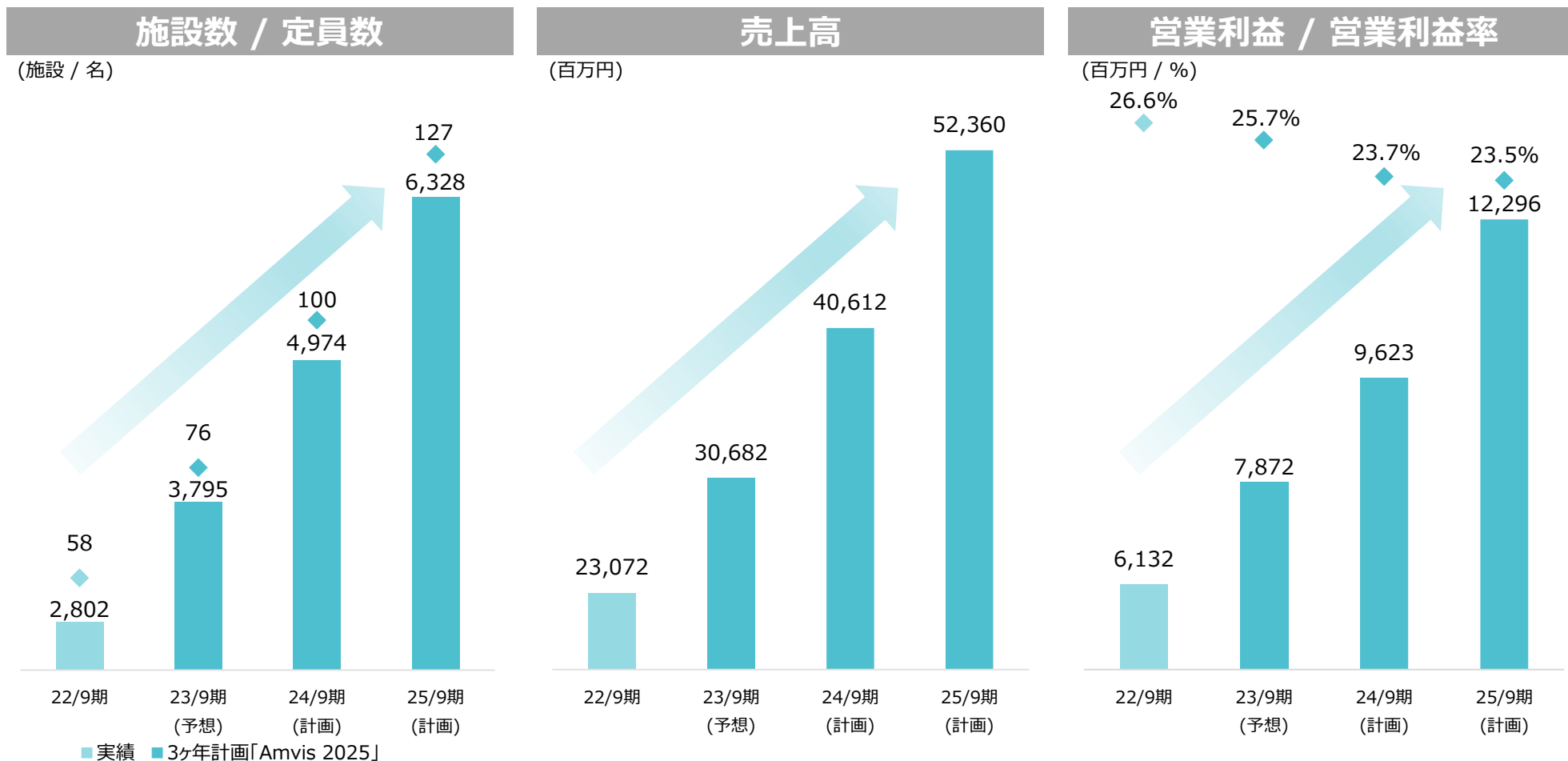
20年9月期-23年9月期 (予想) : 63%

注 :

1. 23年3月に、医心館 四日市 (定員28名) を他事業者に譲渡したが、Amvis 2025目標は2022年11月に公表した数値から変更なし

Amvis 2025 – 主要財務指標

- 東京都における新規開設数の増加及びインフレの影響を踏まえ、利益率はやや低下することを想定
- 24年9月末までに101施設（5,103名）を開設することを決定した旨を公表済（8月9日時点）



注：
1. 23年3月に、医心館 四日市（定員28名）を他事業者に譲渡したが、Amvis 2025目標は2022年11月に公表した数値から変更なし

3ヶ年計画「Amvis 2025」

(億円)	21/9期	22/9期	23/9期	24/9期	25/9期
	通期	通期	予想	目標	目標
売上高	153.3	230.7	306.8	406.1	523.6
(対前年比)	+67.1%	+50.5%	+33.0%	+32.4%	+28.9%
営業利益	37.8	61.3	78.7	96.2	122.9
(営業利益率)	24.7%	26.6%	25.7%	23.7%	23.5%
当期純利益	26.2	42.7	54.0	65.2	83.3
(対前年比)	+112.0%	+62.9%	+26.2%	+20.8%	+27.8%

開設戦略 - 東京都 / 大都市圏 / 地方における特徴

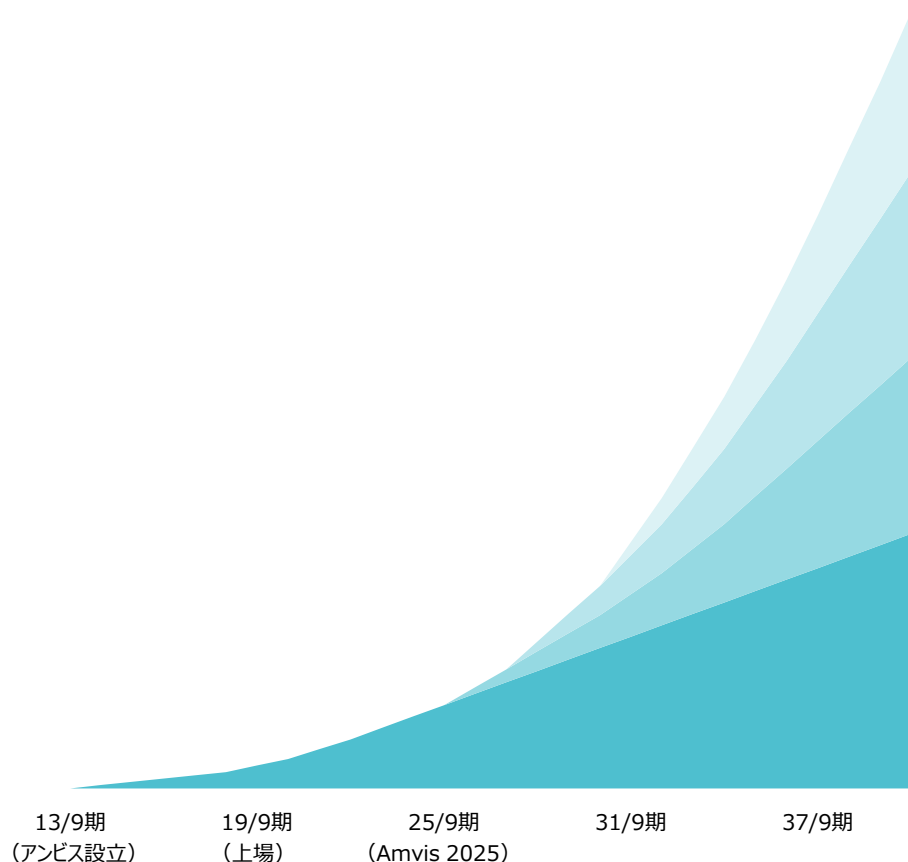
参考指標	市場規模 一都道府県あたりの 平均年間がん死亡者数 ⁽²⁾	開発費用/賃料 当社施設の 賃料・管理費 ⁽³⁾	看護師採用 一都道府県あたりの 平均就業看護師数 ⁽⁴⁾	医心館施設数 22年9月末時点⇒ 24年9月末時点 ⁽⁵⁾	Amvis 2025 (23/9期-25/9期)
東京都	 34,341人	 118,330円/部屋	 106,911人	 5施設⇒15施設 (+10施設)	シェア拡大を優先し 開設を加速 (+15~20施設/3年)
大都市圏 ⁽¹⁾	 19,208人	 71,834円/部屋	 55,436人	 26施設⇒48施設 (+22施設)	従来同様のペースで 開設を継続 (+50~55施設/3年)
地方 ⁽¹⁾	 5,454人	 48,076円/部屋	 21,039人	 27施設⇒38施設 (+11施設)	

注：

1. 大都市圏：埼玉県、千葉県、神奈川県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県 / 地方：東京都と大都市圏を除く都道府県
2. 厚生労働省「人口動態調査 令和3年度」をベースに、各地域の死亡者数合計を都道府県数で除した数値
3. 当社HPに開示している各地域に所在する各施設の賃料・管理費の平均値（22/9期末時点）
4. 日本看護協会「看護統計資料」のI.就業状況 1.就業者数（6）都道府県別看護職員、人口対比（2021年）を基に、各地域の登録看護師・准看護師数合計を都道府県数で除した数値
5. 24年9月期末時点の施設数は、23年8月9日時点で開設決定を公表済の施設について集計した数値

- 展開地域及び対象入居者層の拡大（M&Aを含む）を通じて、医心館事業の規模の拡大を企図
- 医心館の運営等で獲得したノウハウを活用し、医療機関の総合的支援等含めた、周辺事業への展開を企図

中長期の成長戦略



保険報酬に依存しない事業の構築

地域医療再生事業の構築

展開地域及び対象入居者層の拡大（M&Aを含む）

既存医心館事業の拡大

TSR（株主総利回り）を重視した株主還元方針

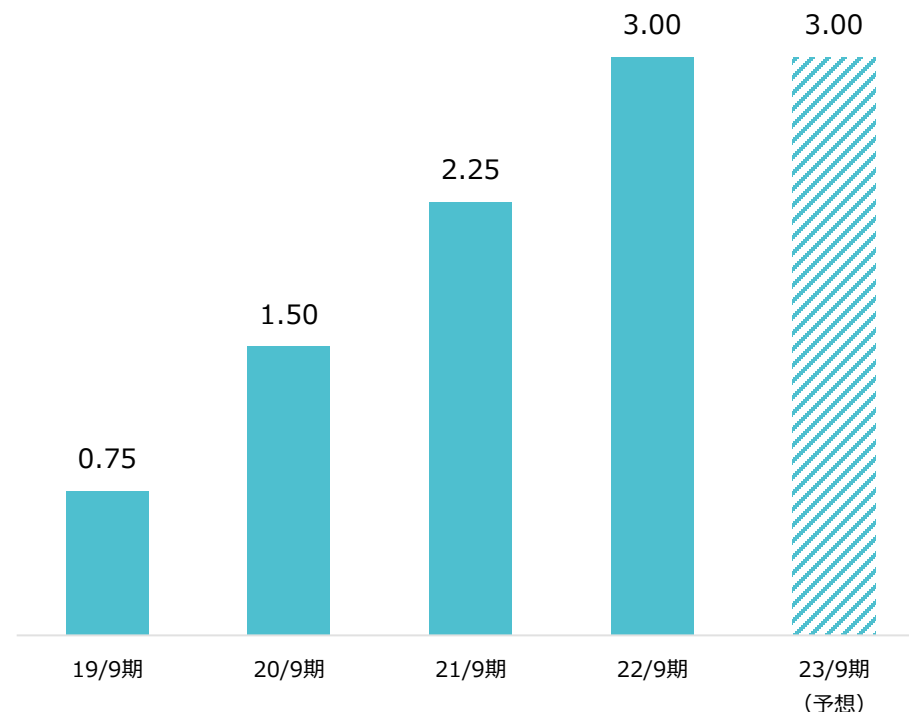
- 23年9月期は成長の加速を優先させるため、1株当たり配当金は現状維持を予想
- 中長期的に、TSR（株主総利回り）を重視し、成長ステージの変化に関わらず安定した利回り提供を企図

株主還元基本方針

- 株主に対する利益配分を重要な経営課題として捉え、医心館事業及びその周辺領域への事業展開と経営基盤の強化を図るための内部留保資金を確保しつつ、株主還元を実施し、企業価値の向上を企図
 - 株主配当：安定的な株主配当を基本とし、市場環境、規制動向、財務健全性等、総合的に勘案し、年1回の期末配当を実施

1株当たり配当金の推移(1)

(円)



注：
1. 20年4月1日付、22年1月1日付、22年10月1日付の株式分割考慮後の1株当たり配当金を記載

本資料には、当社に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の作成時点における予測等を基礎として記載されています。また、当該記述のために、一定の前提を使用しています。当該記述または前提は主観的なものであり、将来において不正確であることが判明したり、実現しない可能性があります。このような事態の原因となりうる不確実性やリスクは多数ございますが、詳細は、当社の決算短信、有価証券報告書をご参照下さい。なお、本資料における将来情報に関する記述は、上記のとおり本資料の日付時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。

【お問い合わせ先】

株式会社アンビスホールディングス 財務部（IR担当）

電話：03-6262-5085 / Email：ir_contact@amvis.co.jp